

第 3 部

地区別計画

1

高須地区

1
高須地区

1 計画の重点課題

- ① 近隣助け合いネットワークの有効活用
- ② 全員があいさつのできる地域作り
- ③ 子どもの見守り活動を活発化
- ④ 地域における健康増進活動の推進



2 高須地区の人口

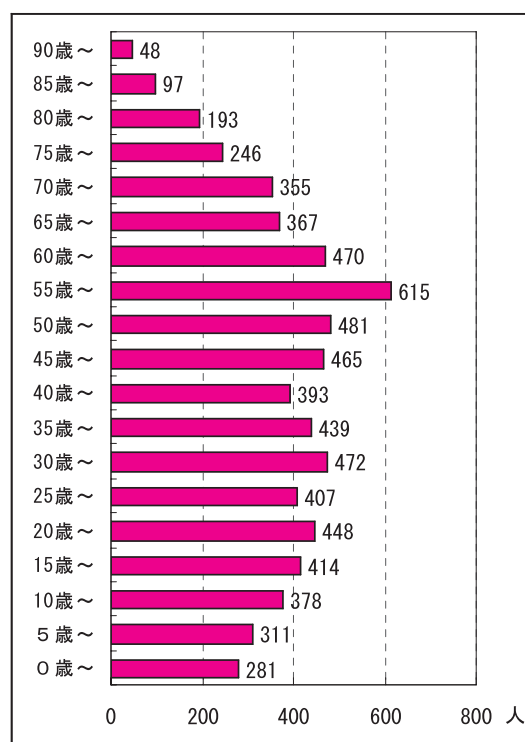
	海津市	高須地区
人 口	40,071人	6,880人
対人口比	100.0%	17.2%
年少人口	5,216人	970人
年少率	13.0%	14.1%
高齢者人口	8,487人	1,306人
高齢化率	21.2%	19.0%
後期高齢者人口	4,060人	584人
後期高齢化率	10.1%	8.5%

平成20年2月1日現在

※年少人口は15歳未満の人口

※高齢者人口は65歳以上の人口

※後期高齢者人口は75歳以上の人口



3 高須地区の社会資源

主要公共施設	福祉施設	教育機関	医療機関
海津市役所海津庁舎	高須保育園	海津明誠高等学校	岡田内科
海津総合福祉会館ひまわり	知的障害者通所授産施設「はばたき」	日新中学校	おおや内科循環器科
海津市文化センター	児童デイサービス「まつぼっくり園」	高須小学校	とみなり整形外科
海津市海津図書館		高須幼稚園	小坂井レディースクリニック
海津市市民プール			高須歯科
海津市歴史民俗資料館			河村歯科クリニック
海津警察署			田中歯科医院
海津市消防署			水谷歯科医院

海津市地域福祉活動計画高須地区活動計画

◆ 地域の交流を深める ◆

(推進課題)

1 (重点)近隣助け合いネットワーク事業の有効活用！！

(推進目標)

地域において、事業をすることが目的ではなく、高齢者、障がい者、児童・青少年等、要援護者の見守り活動が自発的に実施できるよう事業PR、有効活用を行う。

(推進方法)

・地域内の皆が役割をもちながら様々な地域活動に参加できるよう体制を整備する。
(自治会長、自治会役員、民生児童委員、福祉推進委員、老人会、子ども会、消防団、水防団、交通安全、ボランティア、各文化保存会、その他・・・が互いに協力し合って、活動に参加する。)

(推進課題)

2 (重点)全員があいさつのできる地域作り！！

(推進目標)

地域内の子どもから大人まですべての住民があいさつのできる地域を作る。

(推進方法)

・大人から積極的にあいさつをする。
例えば・・・年2回から3回程度、あいさつ強化月間を設ける。

(推進課題)

3 高須地区の活動格差の縮小！！

(推進目標)

高須地区内の自治会が連携を図り、自治会活動の格差を少なくする。

(推進方法)

・自治会活動(近隣助け合いネットワーク活動等)の情報交換を行い、活動の展開、格差を少なくする。
・高須地区内において、合同の行事を実施する。
例えば・・・お祭り、高須地区市民運動会のようなものを開催する。

◆ 高齢者の見守り体制の充実 ◆

（推進課題）

4 ふれあいいいききサロンの充実と開設！！

（推進目標）

高齢者が身近な集会所等に気軽に集まれる、ふれあいいいききサロンの新規開設や、活動を積極的に行う。
また、高齢者の閉じこもり防止、見守り活動につなげる。

（推進方法）

- ・自治会長、自治会役員、民生児童委員、福祉推進委員だけでなく、地域住民が積極的に活動に参加協力をする。義務的にならず、ボランティア的な気持ちで気軽に参加できる体制にする。
- ・閉じこもりがちの高齢者を地域のイベントや老人クラブの行事に積極的に参加を促す。
- ・近隣助け合いネットワーク体制の充実を図り、地域ぐるみで要援護高齢者の見守りを行う。

◆ 子どもの見守り活動の充実 ◆

（推進課題）

5 （重点）子どもの見守り活動を活発化！！

（推進目標）

地域住民全員で子どもを見守り、特に登下校中の児童の安全を図る。

（推進方法）

- ・スクールボランティアに民生委員や福祉推進委員は積極的に参加してもらう。
- ・スクールボランティアも大切だが、誰がスクールボランティアか分かるようにした方がいい。
- ・行事で交流を深め、どこの子か分かるように。
- ・登下校だけでなく、学校に関わる幅広いボランティアを行う。
- ・石津地区のスクールボランティアが活発なので見習う。
- ・小学校や幼稚園前に市バスのバス停を移動してはどうか。
（特に援助が必要な人のお宅前にも移動してもよいのではないか。）
- ・「子ども110番の家」にも協力を依頼（活用）する（場合によっては、警察とも連携をとる）。

◆ 健康増進活動の普及、啓発活動の実施 ◆

(推進課題)

6 (重点) 地域における健康増進活動の推進！！

(推進目標)

地域住民が健康増進活動に興味、関心を持ち、気軽に参加できるよう活動の実施、普及啓発を図る。

(推進方法)

・地域の方が気軽に参加できる健康活動の実施、普及啓発を図る。また、地域の中でさまざま実施されている、健康事業のPRを図る。

例えば・・・太極拳、夏休みに実施しているラジオ体操に子どもだけでなく大人も積極的に参加をする。

例えば・・・ウォーキングコース(安全で、景観のいい・・・)を整備し、PRをする。

・健康に関する内容をふれあいいきいきサロンの中で実施する。

◆ 緊急時(災害等)における助け合い体制の整備 ◆

(推進課題)

7 緊急時(災害等)助け合い活動の充実を図る！！

(推進目標)

緊急時(災害等)に地域の中で助け合い活動のできる体制の整備、準備を行う。

(推進方法)

・緊急時に助け合って秩序ある避難ができるように、避難訓練を実施する。

・防災訓練を充実させる。

・防災情報を伝える防災教育を行う。

・自分一人で避難できない人を地域で把握する。

・家族防災マップのようなものを作り、家族が何人でどこにいるか(屋間の居場所等)をわかるようする。

・ひとり暮らし高齢者(屋間独居)の連絡先を確認しておくこと。

◆ 環境美化活動の推進 ◆

高須区内の道路、田畑、空き地にゴミが落ちている、一斉清掃に積極的に参加するなど、日頃より地域の環境美化に努める。

また、地域内の公園の利用マナー、ペットの飼い方マナーに注意する。

海津市地域福祉活動計画 高須地区策定委員会

◎行政・社協にお願いしたいこと。

1 広報無線が聞こえにくい。利用改善をしてもらいたい！

広報無線が聞こえにくい地域があり、緊急時等心配である。聞こえやすくしてもらいたい。

2 小児科専門医の確保、救急に対応をお願いしたい！

海津市内には、小児科が無い。また、小児科の救急が無く、近隣の病院にしているのが現状である。医師会病院に救急対応のできる小児科の開設をお願いしたい。

3 道路や施設の段差の解消をお願いしたい！

道路や公共施設に段差があり、車イス、ベビーカー、高齢者にとって危険である。段差の解消をお願いしたい。
(今後、建設予定の施設、道路を作る予定または、舗装予定のあるところ。)

4 市営バスの運行状況を改善して欲しい！

市営バスがあるが、運行状況、行程により不便な事がある。バスを小型化し、小回りのきく行程や時間の見直しをお願いしたい。また、高須小学校にはスクールバスが無く、市営バスを利用している。スクールバスを運行してもらいたい。

5 夜間の移動(通院等)手段を確保して欲しい！

24時間対応の緊急車輛を確保してほしい(救急車を呼ぶまでもない場合)。
一人暮らしの方や、車に乗れない方が夜間外出(通院等)するときにとっても困っている。

6 公共施設に切手、印紙、ハガキを置いて販売して欲しい！

身体障がい者が市役所等に來た際に、切手やハガキ等が備えてあれば、何力所も移動せず、用事を済ませることができる。

7 メールリングリストを作って欲しい！(情報を流して欲しい)

メール受信希望者を募り、市の情報などをメールでも配信してほしい。
また、情報交換のできる場を開設してもらいたい。

8 乳児の予防接種を土曜日、日曜日にも実施して欲しい！

共働き家庭も増加しているため、平日だけでなく、予防接種の日を土曜日や、日曜日にも設けてもらいたい。

9 市役所にユニバーサルデザイン(UD)課を置いて欲しい！

(市全体のユニバーサルデザイン化の推進)

バリアフリーの考え方をさらに進め、高齢者・障がい者にとって暮らしやすいまちづくりが、本当はすべての人にとっても暮らしやすいまちづくりとなる。市をあげて、ユニバーサルデザイン化を推進して欲しい。

10 障がい者が学校を卒業し、高齢者になる間行く所が近くにない。

海津市特別支援学校内に医療的ケアを含む、重度障がい者も利用できる施設を作ってもらいたい(障がい児デイサービス)。
重度障がい者ショートステイができる場所を身近な所に開設してもらいたい。
障がい者の就労相談、支援窓口の設置。

11 相談窓口を充実してもらいたい！

総合窓口インフォメーション担当の職員を配置してもらいたい。
市広報、社協広報に相談窓口が掲載されているが、どこに相談に行けばいいのかわかりづらい。PRをお願いしたい。
市広報、社協広報の字を大きくしてもらいたい。

12 ボランティア活動の普及

ボランティア活動は自発的な活動であるが、積極的に参加できるよう、PRをお願いしたい。
また、ボランティア意識の普及、活動の推進をお願いしたい。

地区の課題(高須地区)

(1) 地 域

- ・犬の飼い方のマナー、散歩のマナー。
- ・河川のゴミ散乱調査、清掃、町内の花植え。
- ・分別ゴミのマナー。
- ・空き地・水路に草が生えて、交通の妨げになる。
- ・各所の小さな段差がベビーカー、車イスにとって不便。
- ・公共場所のトイレはオムツ交換場所が狭いと思う（赤ちゃんだけがオムツ交換では無い）。
- ・環境教育の推進（家庭から出るゴミが多すぎる。廃棄物の減量）。
- ・美化運動もいいが、一人一人の公共美意識が大事。
- ・街をきれいにする運動の推進とタバコやゴミのポイ捨て禁止条例の制定を。
- ・巡回バスを小型化して台数を増やして、本数を増やしてほしい。
- ・富成整形外科の前にバスが止まる様にして欲しい。
- ・子どもの通学時の交通機関の不足。
- ・交通安全マップをつくり危険箇所の表示。
- ・朝、夕の海津明誠高前の送迎の車のマナー（渋滞の元になる）。
- ・高須地区は人口が多いのに老人のふれあいの場（憩いの場）が少ない（集会所等）。
- ・昔の遊びを楽しむ方法を考える（小学生対象、なんでも遊び塾）。
- ・自治会の連絡網をしっかりと、皆に知らせしてほしい（特にアパート・借家の人たちのこと）
- ・地区における役員の順番制から来る組織の半死問題。

(2) 防犯・防災

- ・昼間（男の人、自治会長・役員のいない時）地震・火事があったらどうしたらよいか？解らない。
- ・災害時、緊急時の弱者保護の体制を整える。
- ・災害が起きても近所の人顔もあまり分からないので助けあえるか不安。
- ・緊急の場合、警察官、自治会長・学校教職員等指定された者によるマイクロホンを利用して広報できないか。

(3) 高齢者・障がい者・児童青少年

- ・昼間のひとり暮らし高齢者が増加している。
- ・高齢者＝弱者ではないので、過剰の手助けは良くない。
- ・海津特別支援学校と地域の交流。
- ・障がい者が学校を卒業し、老人になる間の行く場所が近くに無い。
- ・子ども達が安心して遊ぶ所がない。
- ・児童虐待、DVなどの早期発見と通報責任を持つ。
- ・子どもの登下校の見守りボランティアの充実。

(4) 医療・介護・保健

- ・施設介護の指導と在宅介護の支援の更なる充実。
- ・緊急性の時こそ、病人を看てくれる人がほしい（夜中でも2～3時間）。

(5) その他

- ・ボランティアの募集は、幅広く、こまめに（個人単位で）。
- ・自治会長と福祉協議会の定期的会合が必要。